

# 305ZT

## お願いとご注意

このたびは、「305ZT」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●305ZTをご利用の前に、「クイックスタート（準備編）」、「クイックスタート（接続編）」、「お願いとご注意（本書）」および「ユーザーガイド」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
●ユーザーガイドは、ワイモバイルのホームページ（http://ymobile.jp/lineup/305zt/torisetu/）からご確認ください。

305ZTは、AXGP / LTE / 3G方式に対応しております。
4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。

**ご注意**
・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

## マナーとルールを守り安全に使用しましょう

### 安全のために

こんな使いかたはやめましょう。

- 分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。
- 落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。故障などの原因となります。
- 本機を加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。故障などの原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。
- 本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

### マナーを守ろう！

安全のために使用が禁止されています。

- 航空機内では本機の電源を切ってください。航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内で携帯電話等の電源を入れることは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
- 病院、研究所など本機の使用が禁止されている場所では、使用しないでください。医療機器などに影響をおよぼす場合があります。
- 電車やバスなどの優先席近くでは使用しないでください。ペースメーカーなど生命にかかわる機器に影響をおよぼすことがあります。
- ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>※1</sup> 」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>※1</sup> 」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 <sup>※2</sup> を負う可能性が想定される場合および物の損害 <sup>※3</sup> のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを用う。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを用う。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

### 絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
	分解してはいけないことを示します。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。		

### 305ZT、USIMカード、電池パック(PBD14LPZ10)、microUSBケーブル(PGD09LPZ10)、USIMカードトレイ抜挿ツール(試供品)、ACアダプタ(オプション品)の取り扱いについて(共通)

## 危険

	分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。		濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
	本機に使用する電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)は、ワイモバイルが指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)の発熱・発火・故障などの原因となります。		本機に電池パックを取り付けたり、microUSBプラグ・ACアダプタ(オプション品)を接続する際、うまく接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、接続を行ってください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損・焼損させる原因となります。
	高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。		本機とmicroUSBケーブルを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。
	USIMカードトレイ抜挿ツールの先端部を人に向けてください。けがや失明の原因になります。		

## 警告

	本機・電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)を加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。		外部接続端子に液体(水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など)や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。
	使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"><li>パソコン・コンセントなどからmicroUSBケーブル・ACアダプタ（オプション品）を持ってmicroUSBプラグ・電源プラグを抜いてください。また、高温になっている可能性があるためやけどに注意して、本機を取り外してください。</li> <li>本機の電源を切ってください。</li> <li>やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。</li></ol>		落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。
	充電しながら端末を長時間使用すると、本機やACアダプタ(オプション品)の温度が高くなる場合がありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。低温やけどなどの原因となります。		充電しなごら端末を長時間使用すると、本機やACアダプタ(オプション品)の温度が高くなる場合がありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。低温やけどなどの原因となります。
	プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所(ガソリンスタンドなど)では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。		乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
	子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方を教えてください。使用中においても、指示どおりを使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。		

## 注意

	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下して、けがや故障などの原因となります。充電中は、特にご注意ください。また充電中の落下は端子の破損の原因となります。		乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
			子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方を教えてください。使用中においても、指示どおりを使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

### 305ZTの取り扱いについて

## 警告

	本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用しています。落下などによる衝撃や無理な力に加えしないでください。ディスプレイが破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。		高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>※ ご注意くださいいただきたい電子機器の例 補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など</li></ul>
	本機をスポンなどの保管時に入れたまま、座席や椅子に座らしないでください。無理な力が加るとディスプレイや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。		本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では本機を使用しないでください。機内で本機が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
	充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。		屋外で使用中心に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。落雷や感電の原因となります。

### お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先窓口までご連絡ください。

電話番号はお間違いないようおかけください。

#### ■ワイモバイル カスタマーセンター

●総合窓口（通話料有料）
ワイモバイルの携帯電話から 151
一般電話、他社携帯電話から 0570-039-151
受付時間：9:00～20:00（年中無休）

●各種お手続き（通話料無料）
ワイモバイルの携帯電話から 116
一般電話、他社携帯電話から 0120-921-156
受付時間：自動音声応答にて24時間受付（年中無休）

●海外から（通話料有料）
+81-4-4382-0800
受付時間：9:00～20:00（日本時間 / 年中無休）

※ お問い合わせの際に、ワイモバイルの携帯電話の電話番号Aと暗証番号（新規で契約時にお客様にてお決めいただいた4桁の番号）が必要となります。本機の電話番号を確認する方法については、「クイックスタート（準備編）」の「本機の電話番号を確認する」を参照してください。

※ 一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。ご利用いただけない場合は、「044-382-0810（通話料有料）」をご利用ください。

ホームページ http://ymobile.jp/
●発売元（保証責任、保証履行）
ワイモビル株式会社
●製造元：ZTEコーポレーション



## 注意

	車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。		本機に磁気カードなどを近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード・フロppyディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
	本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（「使用材料」参照）。		本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

### 電池パック(PBD14LPZ10)の取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

## 危険

	火の中に投下しないでください。電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。		電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
	釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。変形した電池パックを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。ご使用の際は、電池パックの状態をご確認ください。		濡れた電池パックを使用したり、充電したりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
	電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。		コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。

## 警告

	傷や変形などの異常が見られる場合は、使用しないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。		電池パックの使用時・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。		ベツが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ベツが噛みついた電池パックは使用しないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。
	所定の充電時間を超過しても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。		

## 注意

	不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、ワイモバイルの各店舗へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。		電池パックを本機に取り付ける際に、サビ・異臭・発熱、その他異常と思われたときは、電池パックを本製品に取り付けずにお問い合わせ先にご連絡ください。充電は必ず周囲温度5～35℃の範囲で行ってください。

### USIMカードの取り扱いについて

## 注意

	USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようご注意ください。		USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。
	USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。		本機を使用中、USIMカード自体が温かくなる場合がありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

### microUSBケーブル(PGD09LPZ10)、ACアダプタ(オプション品)の取り扱いについて

## 警告

	充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。		雷が鳴り出したら、microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)には触れないでください。感電などの原因となります。
	指定以外の電源・電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。充電器：AC100V～240V（家庭用交流ACコンセント専用） また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。		濡れた手でmicroUSBケーブル・microUSBプラグや電源プラグを抜き差ししないでください。感電や故障などの原因となります。
	使用しない場合は、microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)を持ってmicroUSBプラグ・電源プラグをコンセント/パソコンなどから抜いてください。プラグを挿したまま放置し、充電端子に異物や液体が付着したり、充電端子を踏みつけたりすると、感電・火災・故障の原因となります。		microUSBプラグ・電源プラグにほりこりがついたときは、microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)を持ってmicroUSBプラグ・電源プラグをパソコン・コンセントなどから抜き、乾いた布でふき取ってください。火災の原因となります。
	万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにmicroUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)を持ってパソコン・コンセントなどからmicroUSBプラグ・電源プラグを抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。		microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)をパソコン・コンセントなどに差し込むときは、microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)のmicroUSBプラグ・電源プラグの端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。
	ACアダプタ(オプション品)はコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。		microUSBケーブルは、本機専用の機器です。他社製品にご使用にならないでください。万一、他社製品にご使用され、ショート、火災、故障が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 注意

	充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。やけど・感電・傷害・故障の原因となります。		本機からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBプラグを持って取り外してください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。
	microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)をパソコン・コンセントなどに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。		お手入れの際は、パソコン・コンセントなどから、必ずmicroUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)を持ってプラグを抜いてください。感電などの原因となります。
	microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)のケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけないでください。感電・発熱・発火の原因となります。		microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)をパソコン・コンセントなどから抜くときは、microUSBケーブル・ACアダプタ(オプション品)を持ってmicroUSBプラグ・電源プラグを抜いてください。感電や火災などの原因となります。
	microUSBプラグ・電源プラグが傷んだり、パソコン・コンセントなどの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。		microUSBケーブルおよびACアダプタ(オプション品)は、周囲温度5～35℃、周囲湿度25～80％の範囲でご使用ください。

### 医用電気機器近くでの取り扱いについて

## 警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会【平成9年4月】）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省【平成25年1月】）の内容を参考にしたものです。

	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携帯および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。		付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、本機の電源をお切りください。電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
	医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>手術室・集中治療室（ICU）・冠状態動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。</li> <li>病棟内では、本機の電源を切ってください。</li> <li>ロビーなど、本機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは、本機の電源を切ってください。</li> <li>医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。</li></ul>		自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

## お願いとご注意

### ご利用にあたって

- AXGPサービスは、専用機種以外は利用できません。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してください。
  - 誤った使いかたをしたとき
  - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
  - 動作中に電源を切ったとき
  - 故障したり、修理に出したとき
- 海外で無線LANをご利用される場合はその国の法律に基づいた設定変更が必要となります。設定については、ユーザーガイドをご確認ください。
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その周辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆発装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用するUSIMカードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。
- 充電中や長時間連続でご使用した場合、本機が熱くなる場合があります。
- 長時間間歇に使用したまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いはご注意ください。
- 充電中、microUSBケーブル・ACアダプタが熱くなる場合があります。

### お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

##### タッチパネルについて

- ディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪・ボールペン・ピンなど)を押し付けたりしないでください。以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼ったの操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- タッチパネルにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、けがの原因となる場合があります。

## 無線LANについて

### 周波数帯域について

##### 周波数帯(2.4GHz帯)について

本機の無線LANは、2.4GHz帯の2400MHzから2483.5MHzまでの周波数を使用します。無線LAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機の個装箱または電子銘板に記載されています。

2.4DS4/OF4
------------

2.4：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。
DS/OF：変調方式がDSSS、OFDMであることを示します。
4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。

- ■ ■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

##### 周波数帯(5GHz帯)について

本機の無線LANは、5GHzの周波数帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本機が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52(5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

### 無線LANについてのお願い

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 本機の無線LANが使用する2.4GHz帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいたうえで、混信回避のための処置(例えば、パーティションの設置など)を行うか、使用場所を変更してください。
- 無線LANは、LANケーブルの代わりに、電波を利用してパソコンなどの無線LAN端末と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能になるという利点があります。その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり不正に侵入されたりするなどのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。本機は、お買い上げ時の状態でセキュリティ機能が働くように設定されています。ただし、安全性を考慮して、お買い上げ時のセキュリティ設定を変更してお使いになることをおすすめします。セキュリティ機能の設定方法については、ユーザーガイドおよびお使いの無線LAN端末の取扱説明書を参照してください。
  - 無線LANの仕様上、特殊な方法によってセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解いただいたうえでお使いください。
  - セキュリティ設定などについて、お客様で対処できない場合には、お問い合わせ先までご相談ください。
  - 無線LAN機能をご利用の際に、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題についても、当社は保証いたしかねますのでご了承ください。

## 知的財産権について

- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- Pocket WiFiはワイモバイル株式会社の登録商標です。
- ZTE、ZTE中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2014 ZTE Corporation. All rights reserved.
- Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Internet Explorer、Windows Vista<sup>®</sup>は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- TM and © 2014 Apple Inc. All rights reserved.
- Apple、Appleのロゴ、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Mac、Macintosh、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- PlayStation、PS4、PS3、PSP、およびPSVITAは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- Wii、Wii U、ニンテンドー3DS LL、ニンテンドー3DS、ニンテンドーDSi LLおよびニンテンドーDSiiは、任天堂の商標または登録商標です。
- Wi-Fi<sup>®</sup>、WPA<sup>™</sup>、WPA2<sup>™</sup>、Wi-Fi Protected Setup<sup>™</sup>とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromelは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。Operaに関する詳細については、http://www.opera.com/ja/をご覧ください。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

## PINコード設定

PIN(Personal Identification Number)は、不正ユーザーがUSIMカードを利用することを防ぐために使われるコードです。お買い上げ時のUSIMカードは、PINコード認証なし、PINコードは[9999]に設定されています。PINコードの設定／変更方法については、ユーザーガイドを参照してください。

## 本製品の比吸収率(SAR)について

この製品【305ZT】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準<sup>※1</sup>ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めおり、この通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用方法<sup>※3</sup>で使用した場合のSARの最大値は1.089W/kg<sup>※2</sup>です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合<sup>※3</sup>

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から1.0センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 この値は同時送信の値です。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページhttp://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/e/e/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページhttp://www.arib-emf.org/index02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準および米国連邦通信委員会(FCC)の基準**を掲載しています。詳細は「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」「**米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報**」をご参照ください。

### 欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この製品【305ZT】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本書に記述する所定の方法(※※3)で使用したSARの最高値は0.783W/kg です。

### 「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6 W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って人体の近くでご使用になる場合は1.38W/kgです。

**人体の近くでご使用になる場合：**

この製品【305ZT】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装着具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれないものを選んでください。上記の条件に該当しない装着具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。世界保健機関(英文のみ)http://www.who.int/emf

### Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

**This product【305ZT】meets Japanese technical regulations\* and international guidelines for exposure to radio waves.**

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP\*\*, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 1.089 W/kg\*\*\* when used close to the body in the below manner\*\*\*\* .

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

**Use close to the body\*\*\*\***

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.0 cm **with no metal (parts) between it and the body**. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

\* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

\*\* International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

\*\*\* The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/e/e/body/index.htm
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)http://www.arib-emf.org/index02.html (Japanese)

**This product【305ZT】 is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.**

### European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide\*\*\*\* In this case, the highest tested SAR value is 0.783 W/kg\*.

\* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

### FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.38 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user’s body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID SRQ-MF975.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization

http://www.who.int/emf

## 使用材料

	使用箇所	使用材料／表面処理
製品本体	表面	PC／ラバー塗装
	側面	PC／UV塗装
	電源スイッチ	PC＋TPU／NCVM処理
	ロックボタン	PC＋TPU／NCVM処理
	電池カバー	PC／ラバー塗装
	タッチパネル	強化ガラス
USIMカードトレイ		PC＋粉末冶金(powder metallurgy)／UV塗装
	電池バック接続端子	金属部分：銅合金／ニッケルメッキ <p>樹脂部分：LCP</p>
microUSBケーブル	外装	PVC樹脂
	USBプラグ	鉄／ニッケルメッキ
	microUSBプラグ	ステンレス鋼
電池バック	本体	ABS＋PC／パール紙
	端子	ニッケル／金メッキ
USIMカードトレイ抜挿ツール(試供品)	本体	ステンレス鋼

## 保証とアフターサービス

### 保証について

**本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。**

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、お問い合わせ先またはワイモバイルの各店舗へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

### アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合および外装ケース内のネジを覆っているシールをはかされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、ワイモバイルの各店舗またはお問い合わせ先までご連絡ください。

発売元	<b>ワイモバイル株式会社</b>
製造元	<b>ZTEコーポレーション</b>
	2014年10月 第2版